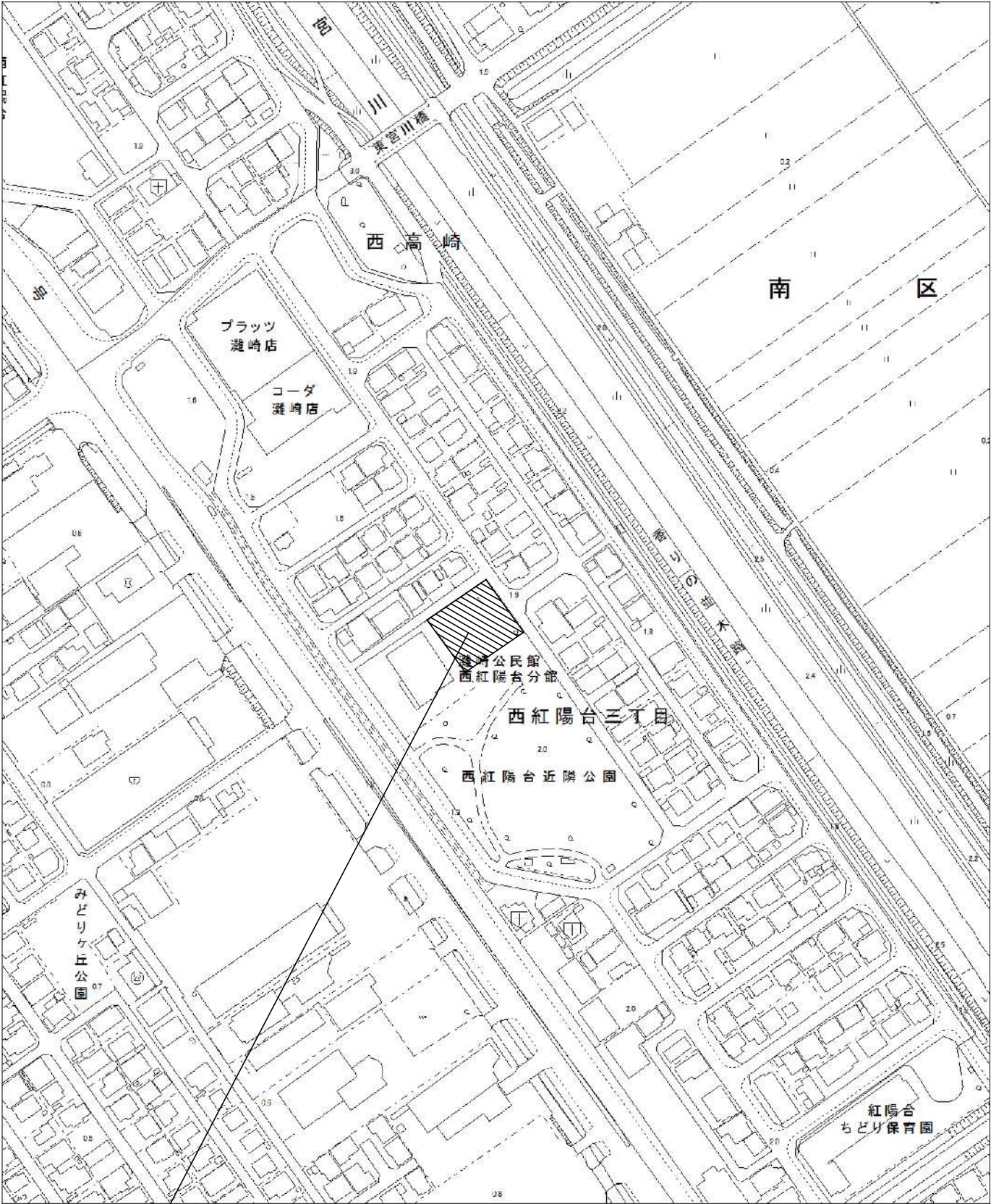


令和 8 年度 西紅陽台近隣公園東屋新築工事

工事概要	東屋の新築	
工事場所	岡山市南区西紅陽台三丁目1-119	
図面リスト		
図面番号	図 名	縮 尺 (A3)
A - 0	表紙・図面リスト・附近見取図	1/2500
A - 1	建築工事特記仕様書 1	――
A - 2	建築工事特記仕様書 2	――
A - 3	建築工事特記仕様書 5	――
A - 4	配置図兼仮設計画図（参考）	1/500
A - 5	詳細配置図・平面図	1/40・1/200
A - 6	東屋詳細図	1/20・1/40
A - 7	テーブルセット詳細図	1/20



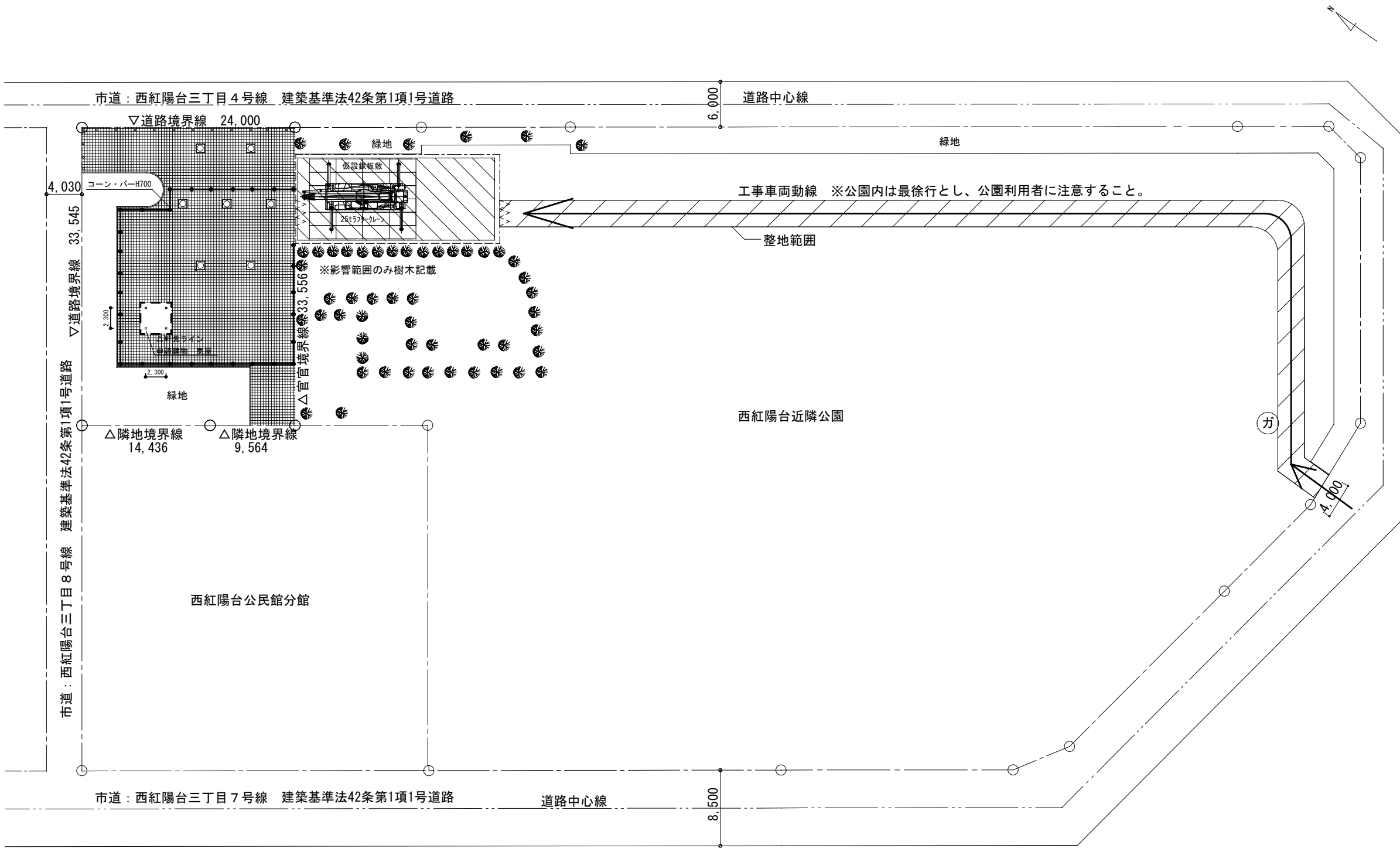
附近見取図 S=1/2500

工事場所：岡山市南区西紅陽台三丁目1-119

工事名	西紅陽台近隣公園東屋新築工事				No.	
図面名	表紙・図面リスト・附近見取図			縮尺	1/2500	A-00
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月		
課長	課長補佐	係長	係長	担当者	承認	検図 製図

8	各都鉄筋 (5.3.7)	部位 配筋方法 ・直接基礎 ※図示 ・各都配筋参考図1.1による ・基礎埋合部の補強配筋 ※図示 ・各都配筋参考図1.2による ・基礎梁のあばら筋 ※図示 ・各都配筋参考図1.4による ・帯筋組立の形 ※図示 ・各都配筋参考図2.2による ・帯筋の割付け ※図示 ・各都配筋参考図2.2の図2.3による ・あばら筋の組立の形 ※図示 ・各都配筋参考図3.2による ・あばら筋の割付け ※図示 ・各都配筋参考図3.2による ・腹筋及び端部の筋 ※図示 ・各都配筋参考図3.3による ・梁の打増し補強 ※図示 ・各都配筋参考図3.3による ・壁の基準配筋 ※図示 ・各都配筋参考図4.1による ・壁の交差部及び端部の配筋 ※図示 ・各都配筋参考図4.3による ・壁（耐震壁を除く）の開口部補強 ※図示 ・各都配筋参考図4.4（・A形 ・B形）による ・耐震壁の開口部補強 ※図示 ・壁の打増し補強 ※図示 ・各都配筋参考図4.5による ・パラベットの配筋 ※図示 ・各都配筋参考図4.6による ・スラブの基準配筋 ※図示 ・各都配筋参考図5.1による ・片持ちスラブの基準配筋 ※図示 ・各都配筋参考図5.3による ・片持ちスラブ先端に壁が付く場合の配筋 ※図示 ・各都配筋参考図5.4による ・スラブ開口部補強 ※図示 ・各都配筋参考図5.5による ・スラブ出隅部及び入隅部の補強配筋 ※図示 ・各都配筋参考図5.6による ・スラブの打増し補強配筋 ※図示 ・各都配筋参考図5.7による ・段差のあるスラブの補強配筋 ※図示 ・各都配筋参考図5.8による ・片持ちスラブ階段の基準配筋 ※図示 ・各都配筋参考図6.1による ・二辺固定スラブ形階段の基準配筋 ※図示 ・各都配筋参考図6.2による ・変質通孔の配筋 ※図示 ・各都配筋参考図7.1による ・変質通孔の補強形式 ※図示 ・各都配筋参考図7.2による ・コンクリートブロック壁等との取合い ※図示 ・各都配筋参考図7.3による	③ 構造体コンクリートの仕上り (6.2.5) ④ セメント (6.3.1) ⑤ 骨材 (6.3.1) 6 混和材料 (6.3.1) ⑦ コンクリートの構造体強度補正等の適用期間 (6.3.2) (6.12.2) 8 ひび割れ誘発目地打継目地 (6.6.4) (6.8.1) 9 打増し厚さ (6.8.1) ⑩ 型枠 (6.8.2) 11 無筋コンクリート (6.14.1~3) ⑪ コンクリートの単位水量測定	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ ・A種 ・B種 ○C種 コンクリート仕上りの平たんさ ・a種 ・b種 ○c種 表6.3.1 セメントの種類 使用部位 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種(Ⅱ)、シリアセメントA種又はフライアッシュセメントA種(Ⅱ) ・高炉セメントB種(Ⅱ) ・フライアッシュセメントB種(Ⅱ) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B (※コンクリート中のアルカリ総量 $Rt = 3.0 \text{ kg/m}^3$ 以下) ※混和剤 (JIS A6204に適合するA剤、A剤減水剤又は高性能A剤減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はI種とする。また、防錆剤を併用する場合)はJIS A6205による防錆剤とする。) ・混和剤 (JIS A6201に適合するフライアッシュのI種、II種、若しくはIV種、JIS A6206による高炉スラグ微粉、JIS A6207によるシリカフューム又はJIS A6202による膨張材とする。) 工事場所 打込みから材齢28日までの予想平均気温の範囲(普通ポルトランドセメント、混合セメントのA種) 雪中コンクリートの適用期間 雪中コンクリートの適用期間 岡山市(限市内) 2月26日～11月22日 11月23日～2月25日 7月2日～9月10日 1月21日～1月31日 8 ひび割れ誘発目地打継目地 ※標準仕様書9.7.3(1)(ア)による 開間 ※図示による 位置 ※図示による ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さで処理する 打増し厚さ ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ※20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ※20mm ・床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う ※10mm ・20mm せき板の材料 ※合板(Ⅱ)(※12mm) ・メッシュ型枠(使用部位 ※構造図による) ・床型枠用鋼製デッキプレート(施工範囲 ※構造図による) スリーブ材 ※標準仕様書6.8.2(9)(イ)による ・構造図による 断熱材兼用型枠 ・使用する ※25mm以下かつ熱伝係率 $1 \text{ m} \cdot \text{h} \cdot \text{K} / \text{cal}$ 以上 ・使用しない MCR工法用ソートの使用 ・使用する 使用部位 ※図示による ・使用しない コンクリートの種類 ※普通コンクリート 適用箇所 ・標準仕様書6.14.1(4)(ア)～(カ)による 設計基準強度 F_c (N/mm²) ※18 スラブ ※15又は18 セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種 ・高炉セメントB種(Ⅱ) ・フライアッシュセメントB種(Ⅱ) ・行う ○行わない (1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(イ)(ロ)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、配合計算書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま打放す。 2)測定した単位水量が設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、その運搬車の生コンは打放してよいが、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示する。その後、設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)測定した単位水量が設計値±20kg/m³を超える場合は、その運搬車は打放す前に持ち帰らせるとともに、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示する。その後、単位水量が設計値±20kg/m³以内になるまで全運搬車の測定を行い、更に設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を書面(配合計算書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。 7 鉄骨工事 1 鉄骨製作工場 (7.1.3) 鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第77条の5第1項に基づく国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び全国鉄骨評価機構(旧「社」全国鉄構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める次のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場とするものとす。 (・Jグレード ・Rグレード ・Mグレード ・Hグレード ・Sグレード) ・配置する ・配置しない 2 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (7.1.4) 鋼材の材質 表7.2.1 種類の記号 適用箇所 規格等 ※JIS規格による ※JIS規格による ※JIS規格による 3 鋼材 (7.2.1) (7.2.10) 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 ・行う 適用箇所 () ・行わない 4 高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2) ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト 2種(S10T) ・JIS形高力ボルト 2種(F10T) 高力ボルトの径 ※図示による すべり試験 ※行わない ・行う (すべり係数試験 ・すべり耐力試験) 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.12.5(1)(イ)による摩擦面の確認は、同一の作業条件のもとで作成した対比試験片で行うこと。	5 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2) (7.4.2) (7.12.5) 6 普通ボルト (7.2.3) (7.3.2) (7.3.8) 7 アンカーボルト (7.2.4) (7.2.3) (7.3.2) (7.10.3) 8 アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.2.4) (7.10.3) 9 ターンバックル (7.2.6) 10 床構造用のデッキプレート (7.2.7) (7.7.8)
---	-----------------	--	--	---	---

9	1	接着剤 (19.2.2)	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていないものとする。	8	壁紙張り (19.8.2)	天井のボード類（ロックウール吸音板を除く）の重ね張りを行う場合 ※図示による 合板の張付け ・A種 ・B種 目地工法の種類とせっこうボードのエッジの種類 目地処理の種類 張り方 せっこうボードのエッジの種類 ・継目処理 ・直張り ・上張り ・テーパーエッジ ・ペベルエッジ ・突付け ・直張り ・上張り ・下張り ・スクエアエッジ ・突付けV目地 ・直張り ・上張り ・ペベルエッジ ・目隠し ・直張り ・上張り ・ペベルエッジ ・スクエアエッジ ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 施工箇所 紙 繊維 強化紙 プラスチック 無機質 その他 ・不燃 ・準不燃 防火性能 ・ 〃 モルタル及びせっこうプラスター面の表地ごしらえの種類 ・A種 ※B種 コンクリート面の表地ごしらえの種類 ・A種 ※B種 せっこうボード面及びけい酸カルシウム板面の表地ごしらえの種類 ・A種 ※B種	11	煙突ライニング (20.2.13)	煙突用成形ライニング材 適用安全使用温度 ・400℃まで ・650℃まで 工法 ・コンクリート打込時に打ち込む キャストابل耐火材 ※煙突成形ライニング材の製造所の仕様による	12	ブラインド(G) (20.2.14)	形式 ・模型ブラインド ・縦型ブラインド（防火性能を有するもの） スラットの材種 アルミニウム合金製 ・アルミスラット ・クロススラット スラットの種類 ※ギア式 ・1本操作コード式 ・コード式 ※2本操作コード式 スラットの幅(mm) ※25 ・35 ・80以上 ・100	13	ロールスクリーン (20.2.15)	操作方式 ・スプリング式 ・コード式（チェーン式） ・電動式 材種 ・図示による ・ 透光性 ・図示による ・ 寸法 ・図示による ・	14	カーテン及びカーテンレール (20.2.16)	カーテン(G) 施工箇所 形式 開閉形式 操作方式 生地の種類、品質、特殊加工等 ひだの種類 ・シングル ・片引き ※手動 ・ダブル ・引分 ※電動 ・シングル ・片引き ※手動 ・ダブル ・引分 ※電動 カーテンレール及び付属金物 施工箇所 強さによる区分 材料による区分 仕上げ 形状 カーテン用付属金物 ・10～60 ※アルミニウム ※アルマイト ※角形 ※10～90 ・ ※ ・10～60 ※アルミニウム ※アルマイト ※角形 ※10～90 ・ ※ ・暗室用は300mm以上の召し合せの重掛けとする	15	点検口	天井 材種 アルミニウム製 寸法(mm) ※450×450 ・600×600 形式 一般型 外枠・縦線タイプ ・目地タイプ 内枠・縦線タイプ ・目地タイプ 枠の許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 材料の品質及び性能 外枠、枠枠の材質 アルミニウム合金押出材材 JIS H4100 A6063S-T5 表面処理 表14.2.1のA-C-1種、A-C-2種（外枠はB-B-1種、B-B-2種） 外枠及び内枠のコーナーピース、吊り金物、取付ボルト 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの 床 材種 アルミニウム製 寸法(mm) ・450×450 ※600×600 形式 ※屋内用一般型・密閉形 パッキンを装着しないもの及びがたつき防止用パッキンを装着したもの 枠の許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 材料の品質及び性能 受枠材、窓枠材、コーナーピース、底板材、底板補強材 アルミニウム合金押出材材 JIS H4100 A6063S-T5 表面処理 表14.2.1のA-B-1種、A-B-2種、B-B-1種、B-B-2種 開閉方式 施設・開設は、鍵又は開閉用ハンドル式 その他 製造所の仕様による	16	屋外掲示板(G)	本体材質 ※ステンレス製 ・ 照明器具 ・有り ・無し 提示板面材質 ・ シヨット仕上げ 施設装置 ※有り ・無し 形状寸法 ※図示による ・ ・固定式（下記以外は図示による） 鋼製書架 ※JIS S1039による ・ 鋼製物品棚 ※JIS S1039による ・ ・移動式 形状等は図示による	17	鋼製書架及び物品棚(G)	・固定式（下記以外は図示による） 鋼製書架 ※JIS S1039による ・ 鋼製物品棚 ※JIS S1039による ・ ・移動式 形状等は図示による	18	くつふきマット	※強化ビニル又はゴム製（受け枠ステンレス製（SUS304））ワンライン型 ・硬質アルミニウム合金製（受け枠ステンレス製（SUS304）） ・ステンレス製（SUS304）（受け枠ステンレス製（SUS304））	19	フェンス	フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・鋼管フェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・アルミフェンス 高さ ・図示による ・	20	天井見切り縁	材種 ※アルミニウム既製品 ・ビニル既製品	21	ピクチャーレール	※見切り縁兼用タイプ ・ 移動フック ケ／m 安全荷重 ※15kg以上 ・	22	誘導用床材、注意喚起用床材	材種 ・レジンコンクリート製（厚さ30mm） ・磁器質タイル製 ・コンクリート製（厚さ60mm） 表面形状 JIS T9251による 寸法 ※300×300 色 ※黄色 ・	23	旗竿	形式 ・ロープ式（テーパー式） ※ハンドル式（テーパー式又は同一断面式） 材種 ・アルミニウム合金 高さ(m) ・ 旗竿受金物 ※ステンレス鋼（SUS304）製 ・	24	既製家具	合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤及び塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種	25	車止め柵	形式 材種 柱径・肉厚(mm) 高さ(mm) 備考 ・上下式内蔵式 ・ステンレス製 ・φ76.3 t=20 ・GL+700 ・（標準品・スリッパ）式 ・ ・	26	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	27	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	28	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	29	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	30	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	31	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	32	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	33	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	34	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	35	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	36	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	37	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	38	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	39	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	40	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	41	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	42	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	43	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	44	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	45	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	46	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	47	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	48	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	49	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	50	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	51	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	52	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	53	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	54	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	55	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	56	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	57	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	58	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	59	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	60	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	61	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	62	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	63	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	64	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	65	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	66	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	67	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	68	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	69	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	70	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	71	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	72	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	73	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	74	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	75	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	76	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	77	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	78	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	79	側溝、排水枡等 (21.2.1)	・鉄製または 型式 ※水封型・簡易密閉型・密閉型・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重（kN）） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ ・有 ・無	80	排水工 (21.2.1)	・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種 ・ 呼び径 ※図示 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・埋戻し強化ビニル管 種類 ・VP ・VU ・RFR-VP(G) ・RS-VU(G) 建物外への硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること 呼び径 ※図示 ・	81	側溝、排水枡等 (21.2.1)
---	---	-----------------	---	---	------------------	---	----	----------------------	--	----	-----------------------	---	----	-----------------------	--	----	----------------------------	---	----	-----	--	----	----------	---	----	--------------	---	----	---------	---	----	------	---	----	--------	-----------------------	----	----------	--	----	---------------	---	----	----	--	----	------	---	----	------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------	---	----	-----------------	--	----	---------------------

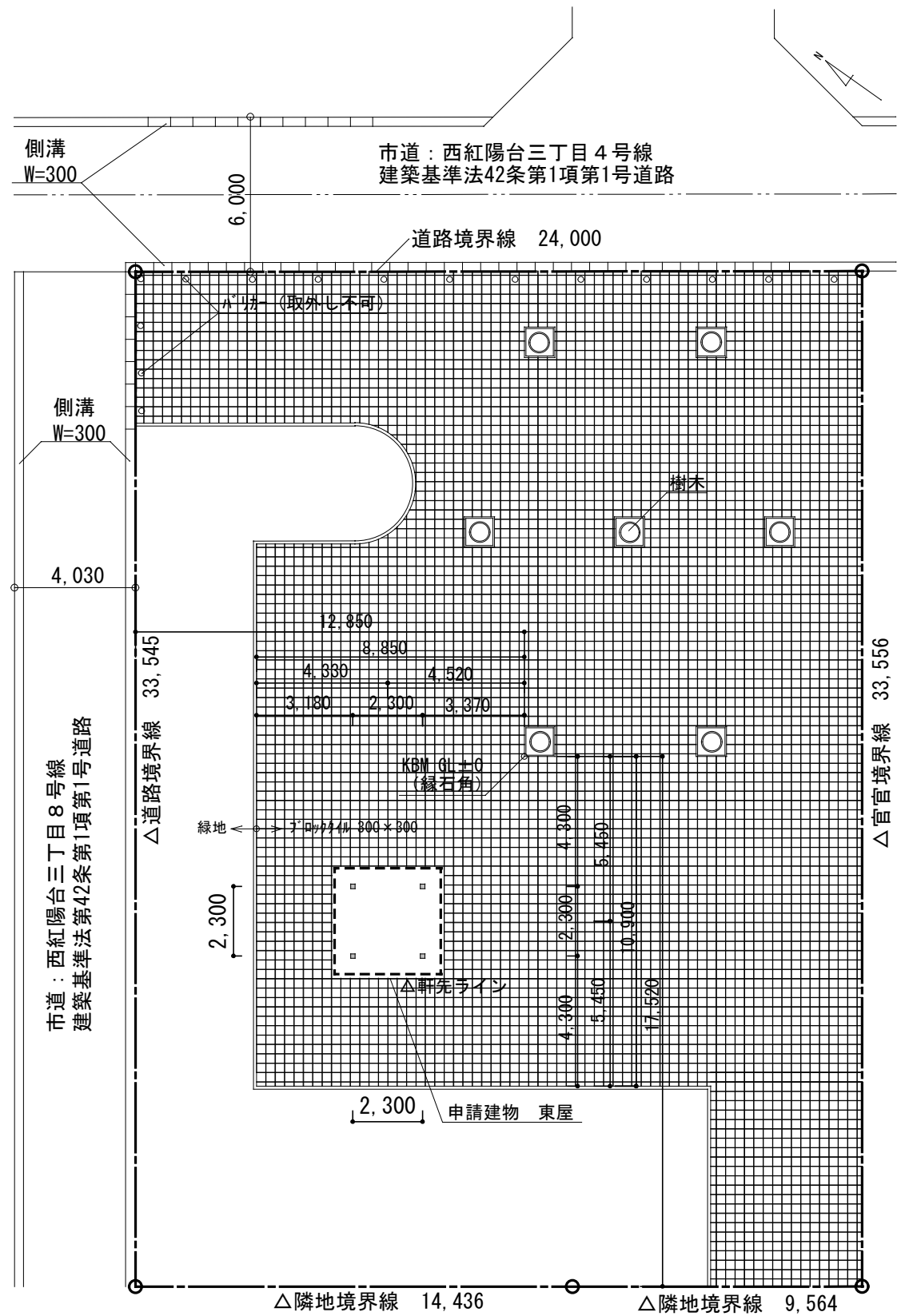


配置図 1/500

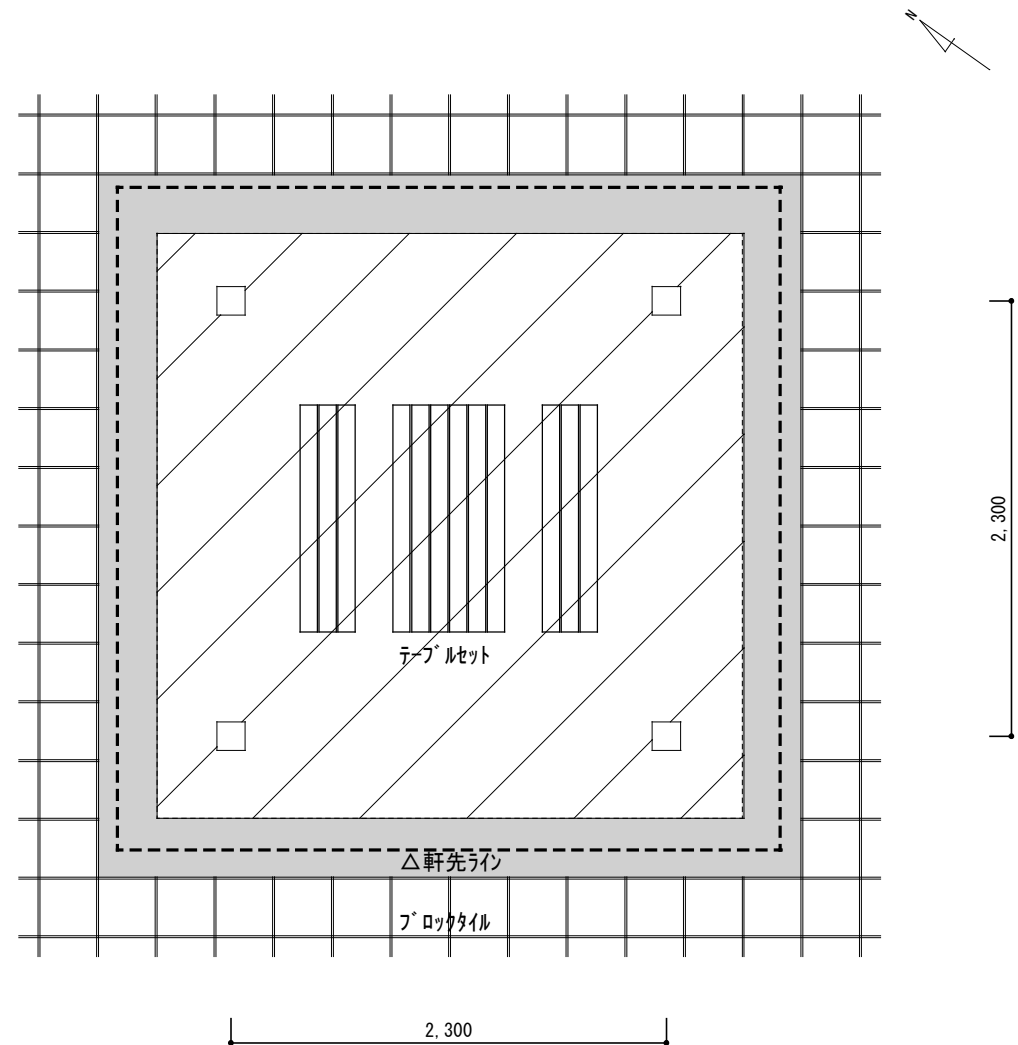
仮設計画（新築）：凡例

--- ガートフェンス H=1,800	(ガ) ガートマン
^^^ キャスターゲート (W=3.0, H=1.8)	← 工事車両動線
⊙-⊙ コーン・バー	作業エリア (車両・資機材・発生土置場・整地範囲)

工事名	西紅陽台近隣公園東屋新築工事				No. A-04			
図面名	配置図兼仮設計画図（参考）			縮尺				
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月				
課長	課長補佐	係長	課員	担当者				
						承認	検図	製図



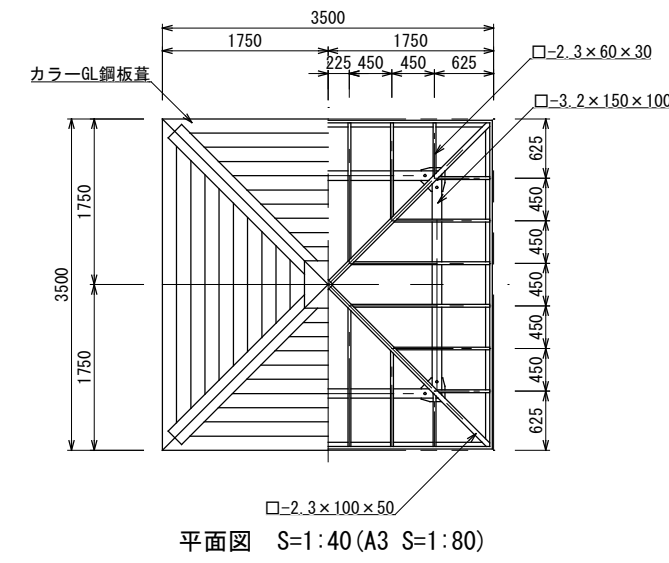
詳細配置図 1/200



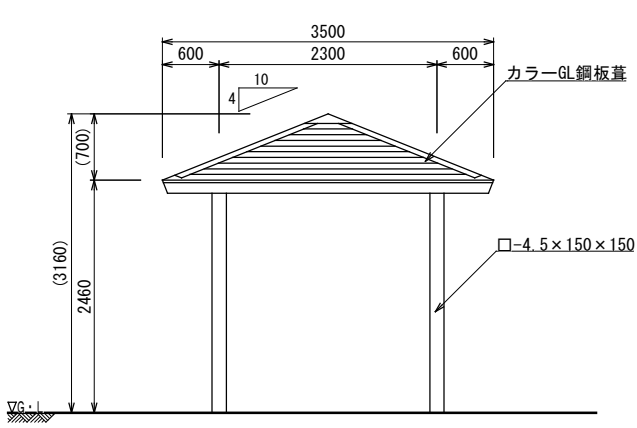
平面図 1/40

- : プロックタイル 300×300【撤去】、砕石敷き【新設】
- ▨ : プロックタイル 300×300【撤去】、コンクリート舗装【新設】

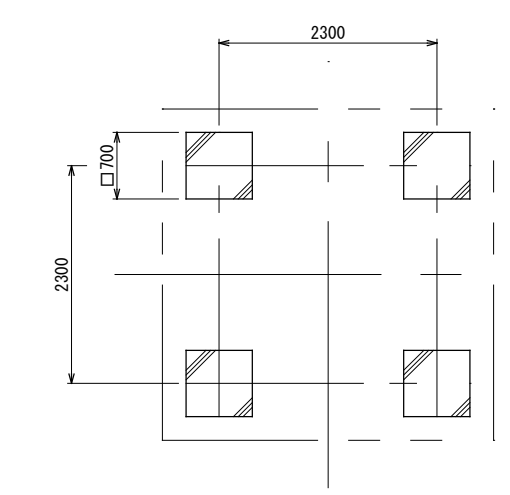
工事名	西紅陽台近隣公園東屋新築工事				No.			
図面名	詳細配置図・平面図				縮尺	1/40, 200	A-05	
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月				
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	



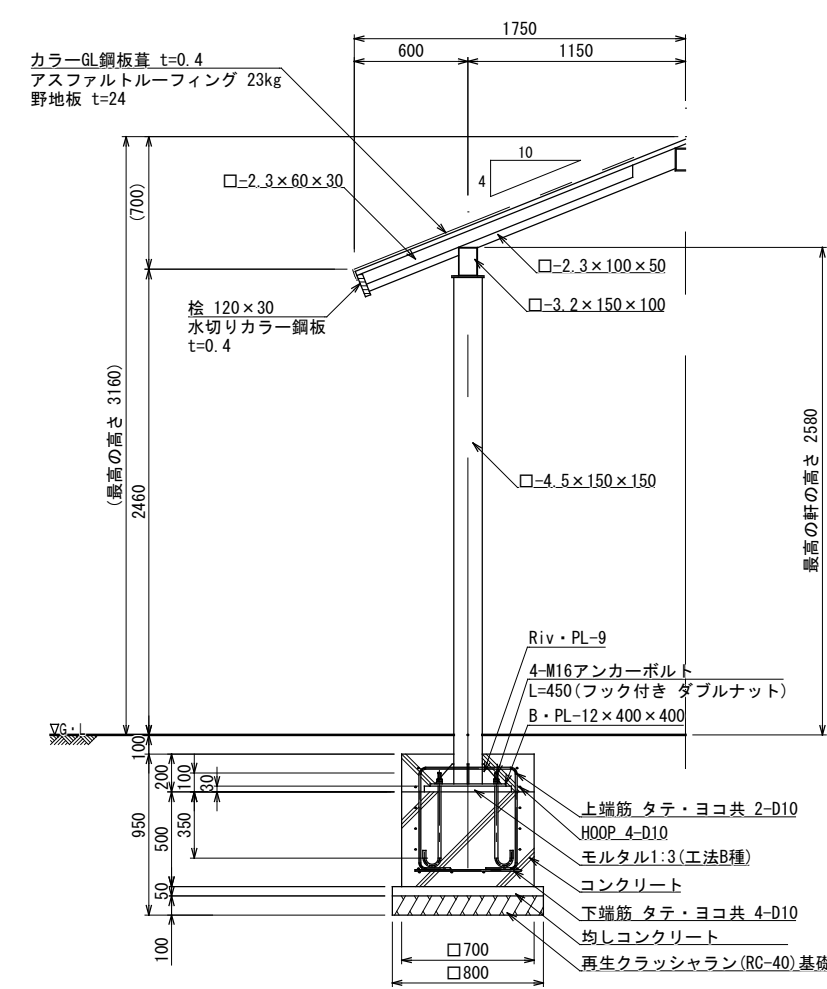
平面図 S=1:40 (A3 S=1:80)



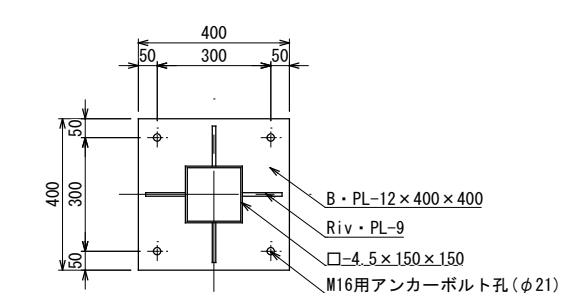
立面図 S=1:40 (A3 S=1:80)



基礎伏図 S=1:40 (A3 S=1:80)

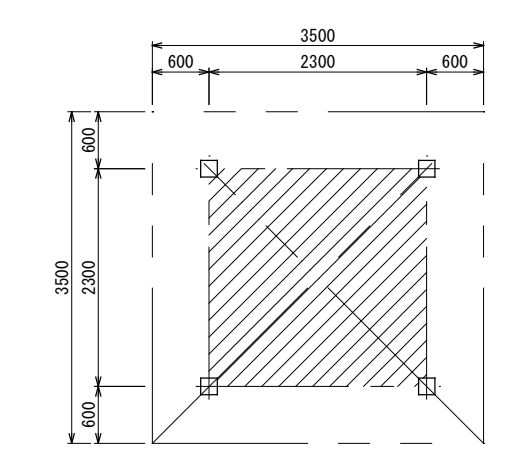


断面詳細図 S=1:20 (A3 S=1:40)



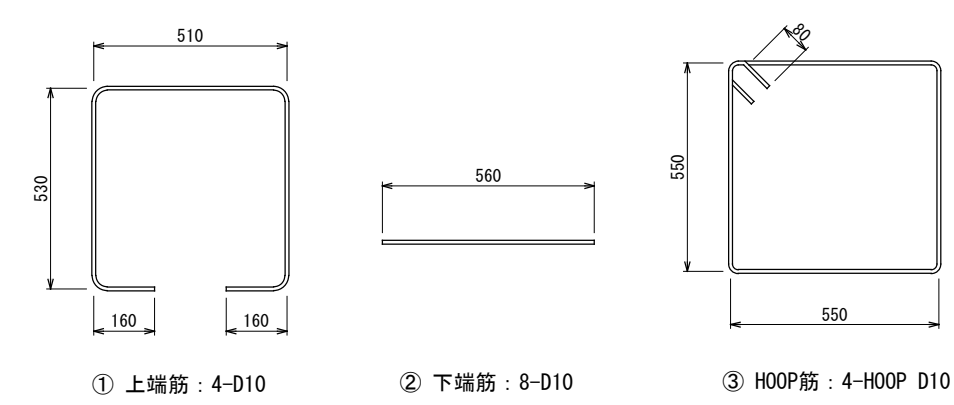
ベースプレート詳細図 S=1:10 (A3 S=1:20)

屋根材	一般名称	不燃材料認定番号
カラーGL鋼板葺	塗装/亜鉛めっき鋼板	NM-8697



面積算定
2.3m×2.3m=5.29㎡
建築面積 5.29㎡
延べ面積 5.29㎡

鉄筋加工図 S=1:10 (A3 S=1:20)

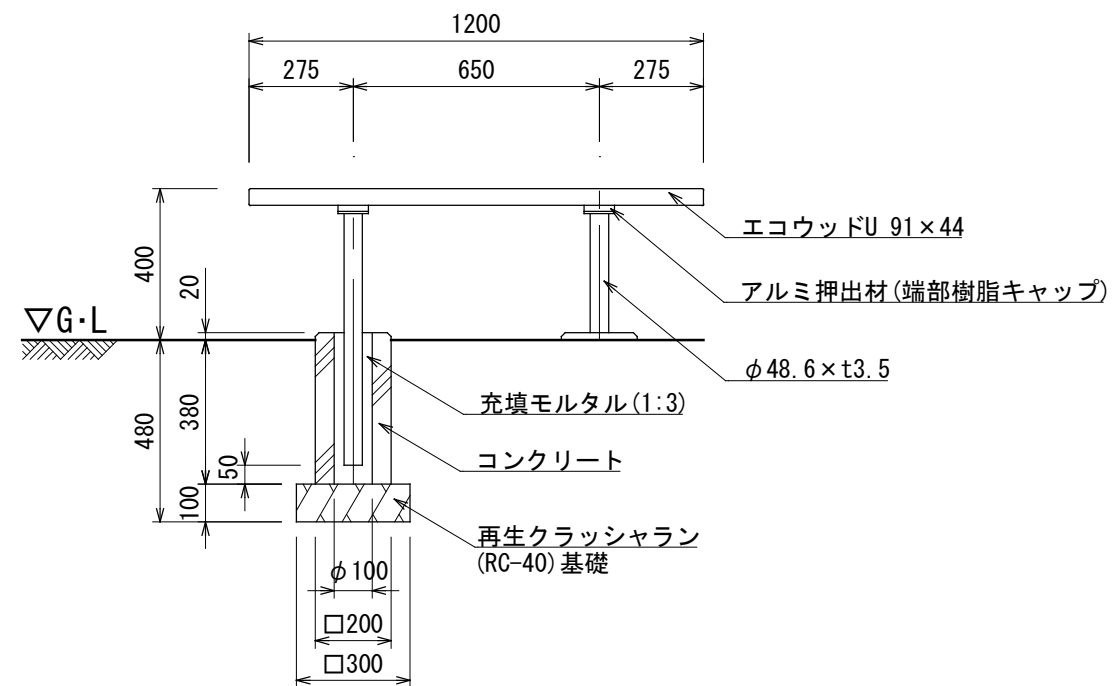
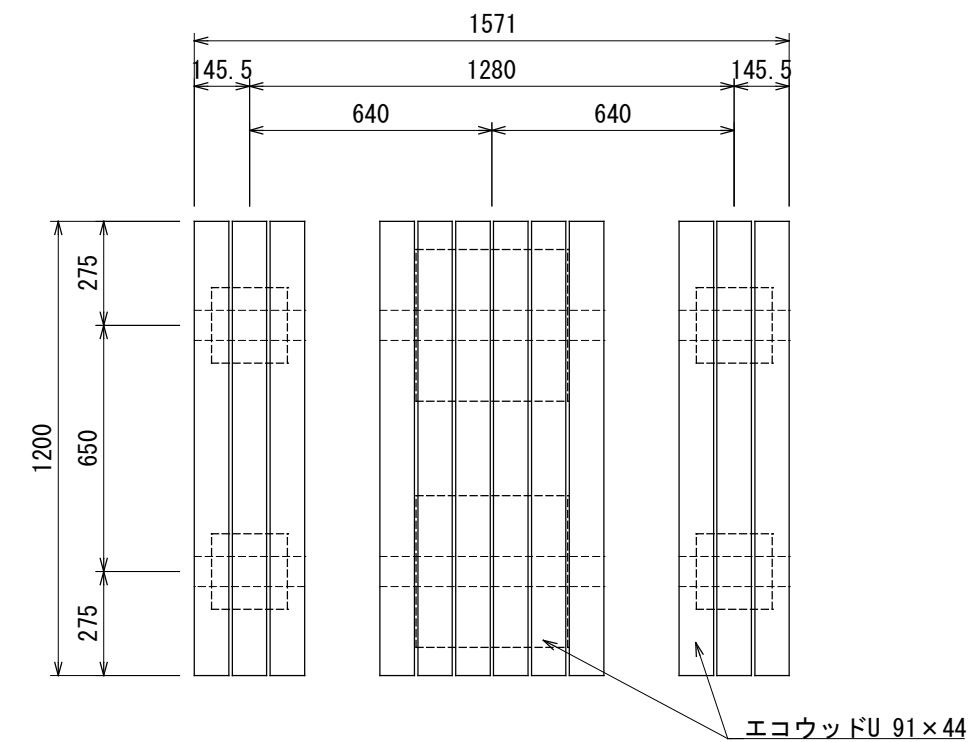


① 上端筋 : 4-D10 ② 下端筋 : 8-D10 ③ H00P筋 : 4-H00P D10

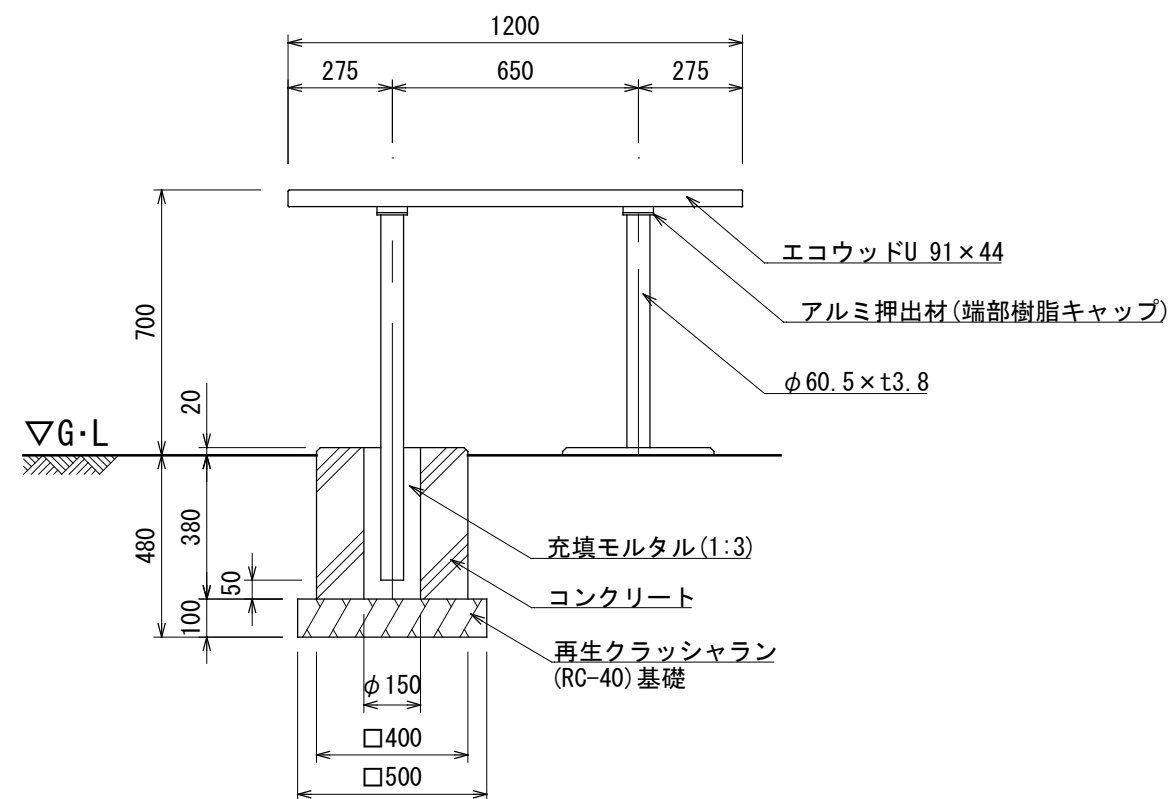
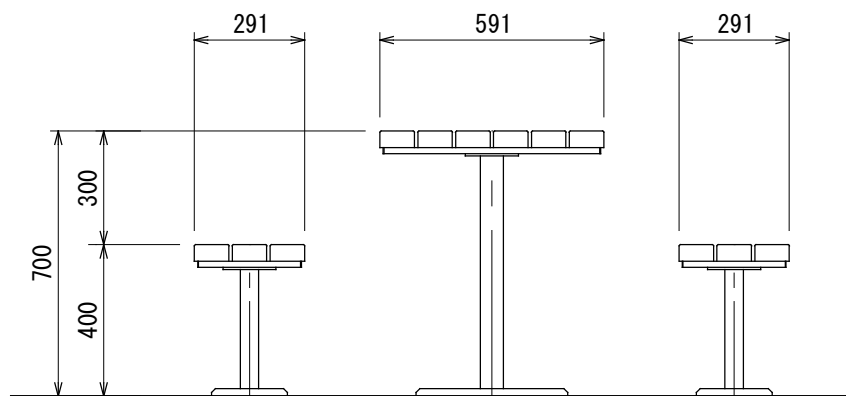
鉄筋重量表								基礎1カ所当たり	
番号	種別	鉄筋径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	総重量 (kg)	適用	
①	上端筋	D10	1890	4	0.56	1.06	4.24	□	
②	下端筋	D10	560	8	0.56	0.31	2.48	—	
③	H00P筋	D10	2360	4	0.56	1.32	5.28	□	
合計							12.00	kg	

- 鉄部は電気亜鉛メッキ処理とし、ウレタン樹脂塗装仕上げとする。(基礎埋設部を除く)
- 木部(野地板を除く)は、TAP加圧注入処理(無公害防腐防蟻剤)とする。
- 木部表面は、TAPステイン塗布仕上げとする。
- ISO 9001:2015認証取得企業の製品とする。
- (一社)日本公園施設業協会 SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- (一社)日本公園施設業協会 団体賠償責任保険に加入した製品とする。
- 内田工業 BA-1101G同等品以上とする

工事名						No.		
西紅陽台近隣公園東屋新築工事						A-06		
図面名						縮尺		
東屋詳細図						(A1) 1/10, 1/20 (A3) 1/20, 1/40		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課						令和8年5月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者		承認	検図	製図



ベンチ部



テーブル部

- 天板、座板(エコウッドU)は、木材・プラスチック再生複合材とする。
- 鉄部は溶融亜鉛メッキ処理とし、ウレタン樹脂塗装仕上げとする。(メーカー指定色)
- ISO 9001:2015認証取得企業の製品とする。
- (一社)日本公園施設業協会 SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- (一社)日本公園施設業協会 団体賠償責任保険に加入した製品とする。
- 内田工業 BB-5203ET同等品以上とする

工事名	西紅陽台近隣公園東屋新築工事				No. A-07			
図面名	テーブルセット詳細図			縮尺			(A1) 1/10 (A3) 1/20	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和8年5月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	